

### 第 3 回 市民福祉常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 4 年 3 月 3 0 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高野美枝子、東川孝義、東千春、川村幸栄、倉澤宏、五十嵐千絵				
委員外議員					
欠席委員					

#### 審査及び報告事項

◎所管部（健康福祉部）の報告及び当面の課題説明を受け質疑を行った。

#### 1. 幼保連携型認定こども園（南保育所改築）建設工事について

##### (1) 建設概要

令和 3 年度の実施設計に基づく、配置図、付近見取図の説明を受けた。

##### (2) 建設スケジュール

令和 4 年 4 月 花園公園改修工事 着工

認定こども園等建設工事入札審議委員会

5 月 認定こども園等駐車場整備工事 着工

6 月 認定こども園等建設工事 入札

第 2 回定例会において議会提案し承認後本契約を行う予定。

#### 【質疑】

Q：各施設の床の構造はどのような作りになるのか。

A：全ての床はクッション性の高いシートでトイレは防菌シート。場所毎に子どもに合った対応とする。

Q：林業関係からの要望もあると思うが、地域木材（道産材）の利用については。

A：本体は R C 造りで、腰壁部分は木の温もりを感じられる木材を使用する。基金の活用で道産材を使用するようにしている。

#### 2. 介護人材確保に関わる外国人受入事業について

##### (1) 現状と課題

少子高齢化による介護ニーズの増加と人材不足が顕著であり、現従事者の高齢化や労働者不足など、近い将来に向けて介護人材確保ができる体制の構築が急務である。

平成 31 年 4 月から新たな在留資格（特定技能）を創設し、外国人労働者の受入れをより積極的に推進しており、人材不足を改善するために有効な方法の一つである。

##### (2) これまでの取り組み

令和 3 年 4 月～ 市内事業所への聞き取り、ハローワーク等の各関係機関との情報交換、関係課間での分析と課題整理。

(秘書広報課、名寄市社会福祉事業団、高齢者支援課)

4 年 2 月 名寄市介護サービス事業者連絡協議会における意見交換会の実施

” 庁内検討委員会の設置（第 1 回）

3 月 道内外国人人材紹介業者等への人材数・経費・処遇情報調査（札幌市等）、庁内検討委員会（第 2 回）、庁内検討委員会（第 3 回）

### (3) 事業の方向性

①介護「特定技能」外国人の受入（国籍の選定）

②処遇（給与、住居、生活環境等）の検討

③受入れ機関の立上げ → 名寄市（名寄市社会福祉事業団が中心）

・当初 : 既存登録支援機関からのサポート

・1年目 : 現場支援（介護技術、生活支援）

・2年目以降 : 独自の支援体制（日本語教育、介護技術、生活支援、母国語対応、入管報告、滞在更新手続き）の確立、市内介護事業者へ情報提供の実施。  
将来的には「地域の登録支援機関」として独立を目指す。

※受入事業に係る経費等について、第2回定例議会に提案を予定している。

#### 【質疑】

Q : 名寄市に、外国人労働者は現在何名いるのか。

A : 何名かはいるが、人数は把握していない。

Q : 住居（市営住宅入居）と生活環境、言葉の関係、病気になった時の対応等は。

A : 住居は市営住宅も視野に入れている。外国人にとって名寄市は降雪が多く寒い場所等条件的に厳しい。働きやすく住みやすい環境、母国語の対応は個々によるが、日常のサポートを含めて対応。通勤の関係も含めて、特定技能を習得されている方をターゲットにして、トータル的なサポート作りを検討している。

### 3. 名寄市社会福祉事業団しらかばハイツの利用状況について

・令和2年度、令和3年度のしらかばハイツの利用状況の説明を受けた。

・介護人材不足により、定員80名に対して、令和3年度の利用者は62名から51名である。

・介護士職員定数は37名に対して30名前後であり、夜勤者を4人から3人態勢で対応。

#### 【質疑】

Q : 現場の大変さが伝わる。退職者の傾向（若い人、勤続経験の少ない人等）は。

A : 令和2年度は退職者が多かった。理由はコロナ禍により親の所に戻る。また市内の他の施設も見たい等様々である。コロナ禍により外に出る研修も出来ず、今後オンライン研修も検討する。

Q : 介護人材育成補助金制度の利用状況は。

A : 高校新卒者及び他市から就職する方にはPRしている。

### 4. 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 国及び北海道並びに名寄市内の状況についての報告を受けた。

(2) 3回目ワクチン接種について

・12月から2月に、医療従事者及び入院患者、高齢者・障がい者福祉施設従事者及び入所者終了

・3月27日現在、高齢者人口8,741人7,874人接種で90.1%（2回目接種者の95.7%）

・満18歳～64歳（約7,800人）4月5日から受付開始、15日から接種開始。

・満12歳～17歳→16～17歳は集団接種会場。12～15歳は病院小児科で接種。

・満5歳～11歳の初回接種（1・2回目接種）4月19日から病院小児科で接種開始

(3) ワクチンの4回目接種については、動向をみながら対応していく。

### 5. その他

①子育て世代臨時特別給付金、給付状況の報告を受けた。

②暖房費用緊急支援金給付状況の報告を受けた。

### 6. 4月1日稼働予定の「小型家電等資源化施設」の見学を行った。

以上

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 東川 孝義